

(案)

平成 27 年度
第 5 期中原区区民会議 第 4 回運営部会

日時 平成27年 6 月 4 日（木） 10：00～

場所 中原区役所 5 階 505会議室

第5期中原区区民会議 第4回運営部会会議録

- 1 開催日時：平成27年6月4日（木）午前10:00～
- 2 場 所：中原区役所5階505会議室
- 3 出席者：板倉部会長、橋本副部会長、反町委員、中森委員、成田委員、仁上委員、萩原委員【委員7名】
（事務局）小野副区長、鈴木企画課長、江口係長、西山職員【企画課】
岩下さん【コンサルタント（株）カイト】1名】

4 議題等

・会議録確認委員の選任

・議題

- （1）第5期区民会議審議テーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」について
- （2）第5期区民会議における次の審議テーマについて
- （3）第5回中原区区民会議について

5 傍聴者 なし

6 会議内容

・会議録確認委員の選任

会議録確認委員の選任について、前回に引き続き、名簿順で仁上委員を選任。

・第5期区民会議審議テーマ「地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに」について

まず、資料1-1「検討テーマ『地域コミュニティ、みんなでまちをきれいに』課題解決に資する提案のまとめ」及び資料1-2「『きれいなまちづくり』活動アンケート回答概要」に基づき、課題調査部会の成田部会長から、5月7日（木）に開催された第4回会議における検討状況や、主な意見等について報告された。

続いて、事務局から資料1-3「課題解決に資する取組案まとめ」について説明がなされ、併せて資料1-4「既存の取組、実施事業等の確認について」に基づき、各委員からの提案について報告された。

【意見交換】

板倉部会長 資料1-1で今回実施したアンケート調査の結果がまとめられているが、これに中心的に関わられた萩原委員、何か御質問や御意見などはいかがか。

萩原委員 今回のアンケート調査では、私もあちこちで会う人会う人に声をかけて協力をお願いし、様々な企業やお店に声掛けできたのがよかった。また、「美化活動は現在やっていない」「以前は活動していたけれど、今は…」などの様々な反応があった。資料では「小杉駅周辺クリーンアップ活動」と提案のまとめに書かれているが、私としては、目玉となる活動はそれであっても、併せて様々な会社や店舗の方がそれぞれの場所の前でもよいので、中原区内で同じ日時に、一斉にクリーンアップ活動に取り組むということをぜひやりたい。「お声掛けいただければ、ぜひ参加します」とおっしゃってくださっている方々もいる。大々的に中原区内をきれいにするきっかけにしたいと思う。区民会議の周知も兼ねて、スローガンを掲げて、広くアピー

ルできるとよい。区民の中での連帯意識の形成にもつながるのではないかな。さらに、最終的には区民会議市民報告会の場で、冊子等での広報を行ったりすることで、自分たちの周りだけでなく、周囲にも目を向け、まち全体がきれいになるという、次へのステップや活動への素晴らしいきっかけになればと思う。ぜひ早く決めて、いろいろな団体や人に声をかけていきたい。素晴らしいコミュニティづくりになると期待している。ただ、「小杉駅周辺」と言ってしまうと、そこだけと誤解されないかどうか少し心配でもある。団体などの参加をエントリー形式にして、美化活動を実施している写真1枚を提出していただくような形でもよいと思う。連帯意識を高めるような仕掛けを考えたいところである。

板倉部会長 市の一斉清掃として、市内統一美化活動が実施されているが、これには町内会などが中心で企業は参加していないのか。

萩原委員 私は多摩川美化活動にロータリークラブで毎年参加しているが、参加する団体が同じで、常連の団体が固定の年間行事に参加するといったように、何か留まってしまっている印象がある。特に近年は活動しても、集めたごみの量は少なく、参加者から「やる必要がないのではないかな」という声が上がっているほどである。「みんなで一緒にやろうよ」というところに意味があり、画期的なものにしたい。お店でも自宅でも会社でも、各家庭でもよい。そこが新しいのではないかなと思う。

仁上委員 初めて区民会議に参加したわけだが、当初は漠然とした検討テーマを議論していく中で、皆さんの意見もどれも的を射たものだった上、どのようにまとめていくのか不安だったが、最終的にはこれだけきちんとまとまってきた。取組によって、すぐまちが良くなる保障はないわけだが、区内の活動を隅々にまで浸透させるために何らかの啓発物や情報誌による呼びかけ、区民会議としてのアピールなどをやっていくことで、一人でも多くの区民の目に留まるようにしていけば良い結果が出てくるのではないかな。区内の様々な立場から参加されている委員の方々がそれぞれの活動の場で発信していく。今回アンケートに回答いただいた方々に対しては区民会議のことや今回の課題を考えるきっかけを与えられたとも思う。地域で行われているそれぞれの活動に、「みんなでまちをきれいにしていこう」というキャンペーンを浸透させていきたい。一斉クリーンアップも実施にはそれなりのエネルギーが伴うと思うが、少しずつでも浸透して、マスコミにも取り上げられるようになれば、大きな力になるのではないかな。

成田委員 各委員の意見を集約していくと、中原区民のマナーについて、いかにモラルを持ってきれいに住みやすいまちにしていくかという問題意識があったかと思う。それに向けて、今、まちにどんな活動や課題があるのかということで、萩原委員に御尽力いただき、足で稼いだ情報がアンケートを通じて明らかになったところである。マナーを皆さんにどうやって浸透させていくか。次の審議テーマでも一つの焦点になってくると思うので、その観点から繋いでいけるとよいかなと思う。

中森委員 皆さんの意見を伺ってどれも賛成できるものだった。アンケートで得られた情報を基にいろいろな活動をアピールできれば、区民の皆さんにとっての刺激にもなると思う。多摩川の清掃について、私は区民会議の会議等を通じて知っていたが、メディアへの掲載記事などはとても小さく、全く知識や活動母体のない人などはま

だまだ知らない活動なのではないか。区内全体で活動をするのであれば、広報を幅広く展開し、区民会議を知らないような方々にも参加していただけるような形になればと思う。「区民会議」が何をやっているのか、区民の生活にどういうメリットがあるのか、感じていない区民がまだまだ多い。区民会議の情報が区民に届くようにしていかなければならないと思う。

反町委員 今出ている提案はどれも素晴らしいものであり、できることから、全て取り組みればよいと思う。私自身は、勝手に「区民会議のイベント担当」を自認しているつもりであるが、「イベントとして盛り上がりそう」という視点で考えると、一斉清掃は面白いと思う。区の一大行事としてつくれば、メディアにも取り上げていただけるのではないかと。「区民会議ならでは」という視点でも考えると、地域で活動、活躍されている様々な方々が集まられているという特徴を生かし、各団体にうまく協議結果を持ち帰っていただいた上で、この一大イベントが実現できるのではないかとと思う。区民会議の周知も図りながら、まち全体を巻き込んで盛り上げていきたい。今回の審議をきっかけに私自身もごみ問題などに対する意識が高まった。通りがかりに、ごみ集積所が以前より気になるようになりチェックしている。きれいなところはいつもきれいだったり、容器が用意されていたりと、それぞれに特徴を感じるようになった。意識を高められれば新たな活動にもつながると思う。

萩原委員 うまくマスコミに取り上げてもらいたいし、取り上げてもらえるのではないかと期待している。後から知った人が「参加しなかったことを残念」と思えるような形にできれば、本当にまちが変わってくると思う。

板倉委員 なかはらメディアネットワークなども活用したい。

仁上委員 今まで気にしなかった場所、例えばごみ集積所などが気になるようになった。今まで汚かったところが変わっていると「おやつ」と思うようになった。

稿本委員 今回、アンケートを実施して、そこから具体的な情報を得ることができた。課題に取り組んでいく段階から、広く活動団体から情報を集めて進めてきたことは、非常によかったと思う。問題意識を高める効果もあったと思う。提案として最終的に絞られた4つについてはどれも実現したい。特に、4つ目の取組案の、啓発の掲示物の関係では、予算等も伴うものになるかと思われるが、区民会議から提案して区の予算等を確保できるような形につなげられないか。デザインもさることながら、ある程度数も確保して「区民会議」の表記も入れて、できるだけ区内の広い範囲に設置できれば、効果が高いと思う。

事務局 これまでの議論を踏まえてよい形でまとまってきたのではないかと考えている。現実的に効果をあげると考えると、区内一斉クリーンアップが実現できれば、確かにマスコミにも取り上げていただけるのではないかとと思われるし、より多くの人が参加でき、またその活動を目にすることによって、さらに波及していくのではないかとと思う。掲示物については、場合によっては緊急用の予算の執行が可能かどうか、事務局としては検討していきたいと考えている。

板倉部会長 全体会議の資料については、本日出された意見を反映して作成することとし、委員長と事務局に一任していただいてよろしいか。

(全員一致で確認)

・第5期区民会議審議テーマについて

資料2に基づき、第5期中原区区民会議の二つ目の審議テーマについて、事務局からこれまでの審議、及び各委員から提出された意見の概要のまとめの報告がなされた。報告を踏まえて、運営部会から全体会議に提案する二つ目の審議テーマについて意見交換及び検討を行った。

【意見交換】

萩原委員 どれも大切で、取り組みたいテーマなのだが、これまで一つ目のテーマとして取り組んできた「みんなでまちをきれいに」のテーマと併せて、同じ目的としてアピールできるよう、その個別具体となるような、または連携できるような課題として、「自転車問題」に取り組んではどうか。あれもこれもではなく、お互いに深めて、コミュニティを高めていけるような形になり、効果的かと思う。

板倉部会長 「地域コミュニティ」というテーマの冒頭に掲げる言葉は変えない方がよいということである。

仁上委員 多少強引かもしれないが、マナーというキーワードでつなげることができそうではないか。自転車はタイムリーで意見も多い課題。昨日、私の町内会の理事会で、「歩いていて後ろから自転車に衝突され、謝ってもらえるかと振り向いたら、『何もたまた歩いているんだ!』と言われてびっくりした。」という出来事が話題になった。正にマナーの欠如の話である。交通ルールも変わり、警察にぜひ積極的に取り締まってほしいという意見も出ていた。これは、安心・安全なまちづくりにもつながると思うので、「自転車」に関するテーマでもよいと思う。

成田委員 各委員の提案についてそれぞれ課題は違うが、全体としては、区民がそれぞれの異なる立場を理解し、まち全体としてマナーを守っていく努力をしていこうといった方向性の課題を提案しているように思う。自転車であれば、自転車と歩行者の間のマナーや相互理解、高齢者については、高齢者と若い世代や子育て世代との相互理解など、互いに異なる立場で相手を理解する。そこから思いやりの気持ちを持つことが、自分たちのまちをきれいにし、住みやすく、安全、安心なまちにつながっていくといったことが、各提案に感じられる。私は自分が関わっている活動から、ベビーカーのマナーについて気になっている。ベビーカーが横並びで通行して、他の歩行者等の妨げになっているなどマナーの悪い場面を見かけることがある。このことから、自転車を中心としてテーマに取り上げ、一つ目のテーマと関連付けて検討していくこともよいのではないか。

仁上委員 ベビーカーを押しながらスマホを操作しているような場面も見かける。

橋本委員 自転車を運転しながらスマホを操作しているのもよく見かける。特に中原区は若い世代の親も多く、保育園への通園が増えてきていることから、その送り迎えに自転車を使っていて、非常に急いでいてスピードを出している自転車をよく見かける。マナー向上を重点的に取り上げてほしいと思う。

中森委員 子どもと一緒に自転車に乗せたまま信号無視をして、子どもに「お母さん、信号無視はだめだよ。」と言われて、「大丈夫よ。」と言っている母親を見たことがある。

子どもが正しいルールやマナーを分かっているとしても、親がそういうことをしてしまうと、そのうちに親と同じことをやってしまい、モラルやマナーはなかなか向上しない。世代交流も絡めながらマナーを取り上げることができるかもしれない。

萩原委員 他の人のことも考えるということ。自分さえよいという考えでは、楽な方へ向かい、ルールを守らないことになる。

中森委員 みんながマナーを守れば、みんなが安心して歩ける環境につながり、よい循環ができると思う。

反町委員 マナー、モラルについて考えることはよいと思う。このまちに暮らす人が互いに考える。今の中原区がマナーの点で特別にひどいとは思わないが、今、事例をいくつか挙げられたように問題はあるし、私自身もたばこのポイ捨てや危険な走行をする自転車などが目につくことがある。例えば車を運転していて、「あの自転車危ないなあ」と感じるなどがある。中原区の特徴を考えると子育て世代が多く、これからも増えていくことから、その方々と一緒にマナーを考えていく。私も「地域コミュニティ」という言葉はぜひ残したいと感じた。

事務局 改正道路交通法が6月から施行され、神奈川県警が1日、2日の二日間の取り締まりの結果、県内で35件の赤切符を発行したとのことである。赤切符というのは切られたら、裁判所に出頭しなければならないこととなっている。区内でも数件と伺っており、少し多いかなといった印象を受けている。

萩原委員 まだ新しいルールやその仕組みを理解していないが、赤切符はその場ですぐ切られるものなのか。半年などの期間内に3回警告を受けると何かあるというようなことを聞いたのだが。

板倉部会長 3年以内に2回警告を受けるという仕組みだったか。

事務局 3年以内に2回警告を受けると、5,800円払って講習を受ける義務がある。赤切符がその場で発行されるのは、例えば、踏切が閉まっているのに自転車で中に入ってしまったなど、相当悪質なケースなどである。注意を受けたケースなどはもっとたくさんあると思われる。

中原区の自転車交通事故件数は川崎市7区の中で5番目であるが、交通事故全体に占める自転車交通事故の割合でみると、川崎区に次いで県内でもワースト2位である。交通事故件数全体は少ないが、自転車交通事故件数の割合は多く、そのため、自転車交通事故防止重点地区に指定されている。

萩原委員 その数値がそれ以上悪くならないようにしたいところ。タクシー会社などにも伺えば、現状がよりわかると思う。ドライバーの方々が「本当に中原は自転車が危ない、怖い」と話すのを耳にすることがある。

成田委員 朝7時45分から8時30分頃までの時間帯、保育園に近い交差点などは本当に怖い。普通に歩いていると、その間をすり抜ける自転車がどんどん通行している。自転車の後ろにも子どもを乗せている方もいらして、どちらがいつ被害者になってもおかしくない状況である。

板倉部会長 保育園送迎の自転車は、マナー上問題がある場合が見られる。

橋本委員 かなり急いでいる方に多く見られると思う。

成田委員 保育園の送迎に来た自転車の駐輪マナーなどを問題視する声が、地域からも上

がっていることがある。

板倉部会長 東京オリンピックに向けて検討が何かできないかという提案を、私は出した。神奈川県もオリンピック担当を設置して検討を始めたようだし、等々力競技場をパラリンピック選手の練習場として活用してもらおうと川崎市が手をあげているようである。バリアフリー対策などという設備投資費用もかかってしまうだろうから、例えば小杉駅から等々力競技場の間について車いすが通行しやすい道路などを調査し、マップなどを作成してみてもどうかと考えてみたところである。

事務局 (11月14日) 一つ目の審議テーマについて、アンケート調査でまず現状や課題を把握したことがよかったという御意見をいただいた。二つ目のテーマについて、自転車等交通問題を通じて、地域コミュニティを考えようとなるのであれば、やはり現状把握がまずできるとよいと思う。その中には今、部会長がおっしゃられたような地域交通の課題を調査整理するとか、マップ化するなどして「この周辺は保育園があるから朝の自転車ラッシュがひどい」「ここは車いすが通りにくい」など課題が見えるようにしていくことも提案としてあるかと思う。

橋本委員 歩くのが大変なので、自転車に乗っている高齢者も多くいらっしゃる。こうした方に対する心遣い、マナーも必要かと思う。

仁上委員 車道上の自転車通行帯部分が、植栽でふさがれてしまって通れないケースもある。美観の面からも、自転車走行の面からも課題となることもある。自転車をテーマに取り上げると、身近な問題であるし、いろんな角度から意見が出やすいのではないかと思う。

成田委員 バリアフリーの観点から、誰が一番優先されるべきなのかというところで、ハード整備の面ではなく、自転車、車いす、ベビーカーなど、使う側がお互いどうやって譲り合っていくかというところに意見交換の焦点が当てられればと思う。

中森委員 外国籍市民も当事者として加えて欲しい。日本に住んでいる間は日本の交通ルールに従っていただくことが大切だと思う。先日、国際交流センターに送付があったが、警察庁と交通安全協会が4か国語で作成している交通ルールの説明資料を入手した。こういった資料も利用して、外国籍の方々にも交通マナーを理解していただく取組も必要だと思う。国際交流センターに10部ほどしかなかったが。

萩原委員 市でも同じような資料を作成して、区役所をはじめ、もっとあちこちに置けるようにしてもよいかもしれない。

中森委員 この6月の道路交通法の改正などもお知らせできるといいと思う。絵が多く、わかりやすい資料がよい。

萩原委員 ホームページなどにも掲載して、ダウンロードや閲覧ができればよいと思うが。

事務局 中原警察署を通じて、資料のリクエストをしてみたいと思う。

中森委員 国際交流センターからももっと資料が欲しいという依頼をしたようである。

事務局 先ほどパラリンピックに関する御意見が出されたが、中原区での2回目の車座集会で、参加者の中にサウンドテーブルテニスをされている視覚障がい者の方から、練習場の確保を区内でぜひお願いしたいという御意見をいただいた。配布資料のとおり、パラリンピックの選手に対して等々力陸上競技場を月1回程度、無料で提供するとの新聞記事になったわけだが、障がい者スポーツに取り組める場がなかなか少ない

というのは1つの課題であるかなと感じている。

事務局（市外） 地域交通の諸課題を通じて、相互理解やマナー、思いやりの形成を進め、地域コミュニティを育てていこうという方向性がイメージとして共有されてきたかと思われる。これをどのように表現し言葉で表すか。具体的な課題としては、自転車、車いす、ベビーカーのマナー、保育園の送迎時のラッシュ時の自転車のマナー、外国人の交通ルール理解の促進などが挙げられていた。テーマのタイトルとしては、「地域コミュニティ」をテーマの冒頭に置く。例えば、「地域コミュニティ、思いやりの交通システムを考える」などが挙げられる。

萩原委員 例えば「地域コミュニティ、ハートフル自転車マナーで安全な中原に」。これをもう少しコンパクトにできればと思います。

事務局（市外） 「自転車」はタイトルに入れた方がよいか。

萩原委員 入れないと少し焦点がぼけてしまう恐れがあるように思う。

中森委員 ベビーカーや車いすなども考えたい。

事務局（市外） 「交通マナー」として幅広く捉えられるようにしておく、または、そういう問題も考えるのだけれどもタイトルとしては、「自転車」を前面に出してタイムリーにアピールしていくという考え方もありそうである。

橋本委員 「地域コミュニティ、みんなで守る交通マナー」はどうか。

成田委員 「ハートフル」や「思いやり」という様な要素も入れたい思いもある。

板倉部会長 「育てるまち」とか。

仁上委員 「マナー」「モラル」と「地域コミュニティ」をうまく組み合わせてつなげたい。

萩原委員 「自転車」の言葉を入れることでインパクトは出ると思う。それ以外の課題も表現したいのであれば、横に「など」を入れたり、サブタイトルを入れるなどの形はどうか。「交通マナー」とするといろいろな課題があるので、漠然としすぎ、イメージがしにくいと思われる。

板倉部会長 交通というと、電車をイメージする人もいそうである。

萩原委員 自転車以外の課題はタイトルに入れなくても中身で検討していくという考え方もあると思う。

事務局（市外） 「地域コミュニティ、みんなでつくる交通マナー」はどうか。

板倉部会長 「つくる」よりも「育てる」がよいと思う。

成田委員 「みんなで育てる交通マナー」。いいと思う。

反町委員 「育てる」という表現はよい。現在進行形を感じる。

萩原委員 自転車は外れることになる。

中森委員 中心課題は自転車ということではないか。

反町委員 サブタイトルをつけて、自転車を表現してはどうか。「自転車やベビーカーのマナーを守ろう」など付ければよいと思う。サブタイトルで少し補足したいところである。具体的なイメージがより伝わりやすくなる。

萩原委員 もともと「みんなでまちをきれいに」のテーマの中でも「放置自転車」が課題の一つとして挙げられていたということもある。

仁上委員 「交通」というと、私などは「車」というイメージがどうしても強くなる。

事務局（市外） 例えばサブタイトルで「自転車、ベビーカー等を通じて」などはいかがか。

橋本委員 スマホなどをやりながら歩いている「歩行者」も気になっている。

仁上委員 歩きながらスマホを操作していて、蛇を踏んでしまい、蛇に咬まれたというニュースを見たことがあった。

事務局（市外） 車よりも、むしろ歩行者や自転車など、誰にも身近な交通移動手段を主眼に考えたいというイメージか。

萩原委員 あまりずらずら並べ立てても収まりが悪くなる。自転車、ベビーカーを代表的に挙げてはどうか。ベビーカーが入っていると「あつ」と思わせる部分もあると思う。

板倉委員 歩行者のマナーも実は考えたいところである。

反町委員 歩きながらのスマホ、自転車を運転しながらのスマホなどをまとめて、「ながらスマホ」ということもある。何かしら身近に感じさせるキーワードが入っているとよいと思います。

中森委員 自転車、歩行者、ベビーカー等を一言でまとめられる言葉が何かあるとよいのだが…。

事務局（市外） ごみ問題と同じで「みなさんが当事者」ということを伝えたい。そこをイメージしてもらえるようにしたいということか。

萩原委員 サブタイトルで「歩きやすいまちに」はどうか。当事者意識はしてもらえそうである。課題が具体的にはならないが、それについては検討の中で進めていくということでしょうか。

板倉部会長・反町委員 いいと思う。

萩原委員 放置自転車なども、「歩きやすさ」の問題として考えられる。

事務局（市外） それでは、テーマタイトルは「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー」とし、サブタイトルとして「歩きやすいまちに」という案とする。具体的な課題としては、自転車の交通ルールや運転マナーに関する問題、高齢者の自転車やベビーカーのマナー、駐輪マナー、歩行者の通行マナー、車いすも通行しやすい道路など、地域の身近な交通課題を捉え、誰もが安心して通行できる地域を目指す。相互理解やモラルアップ、思いやりの形成につながる取組を考えようということによろしいか。

萩原委員 よいと思う。

事務局 「歩きやすいまち」といった時には、案内サインなどの整備の課題や木の根が原因で路面に凸凹ができてしまっているといった課題も含まれてくる印象がある。

萩原委員 本タイトルに「マナー」と入っているので、とりあえずは伝わるのではないか。

事務局（市外） テーマが決まれば、最大 10 人程度で課題調査部会を立ち上げ、その方々を中心に、現状の調査や課題解決に資する提案の検討を進めていくことになる。今回の課題調査部会に参加されていない新しい委員の方々にも参加していただきたいところである。先ほどの整理に基づき、資料を作成し、委員長、副委員長と事前に相談の上、全体会議で示していきたいと思うがよろしいか。

（全員一致で確認）

・第5回第5期区民会議審議テーマについて

資料3に基づき、第5回中原区区民会議全体会議の次第、今後の進め方について、事務局から説明があった。特に意見等は出なかった。

7 その他

・今後の日程調整について

第5回運営部会は、9月下旬から10月上旬頃までの開催を検討しているが、日程調整は改めて個別連絡で行うことを確認。

8 閉会

以上により、すべての議題等を終了

(以上)